

# キリスト教教理入門

1. 神学をすること
2. 神の啓示
3. 神の性質
4. 神のみわざ
5. 人間
6. 罪
7. キリストの人格
8. キリストのみわざ
9. 聖霊
10. 救い
11. 教会
12. 終末

## 第二部 啓示論

- 3章 神の普遍的啓示
- 4章 神の特別啓示
- 5章 啓示の保存: 靈感
- 6章 神のことばの信頼性: 無誤性
- 7章 神のことばの力: 権威

## 3章 神の普遍的啓示

1. 啓示の性質
2. 一般啓示の様式
3. 一般啓示の現実と有効性
4. 一般啓示と人間の責任
5. 一般啓示の意味合い

# 第一節 啓示の性質

1. 啓示には二つの分類
2. 一般啓示に関して

## 第二節 一般啓示の様式

1. 自然 詩篇19:1、ローマ1:20
2. 歴史 イスラエルの歴史
3. 人間
  1. 道徳的、靈的資質
  2. 宗教的性質

# 第三節 一般啓示の現実と効力

## 1. 自然神学 - a

1. 一般啓示の性質、範囲、有効性
2. 自然神学の前提
  1. 創造の完全さ
  2. 人間の完全さ
  3. 人間の知性と創造の一致
  4. 理性のみで純粋な神知識
3. トマス・アクイナス
  1. 自然と理性
  2. 下方の真理と上方の真理

# 第三節 一般啓示の現実と効力

## 1. 自然神学 - b. 神存在証明

1. 宇宙論的証明
2. 目的論的証明
3. 至高のデザイナーの存在
4. 人間論的・存在論的証明
5. 道徳的衝動と範疇的命令
6. 経験的論証
7. カントの論争

# 第三節 一般啓示の現実と効力

## 2. 自然神学批判

1. 論証の使用自体 - 不利益
2. 原因の直接的連鎖 - 唯一の方法ではない
3. 経験を越えるものへ - 論証の拡大
4. 100ポンド(50kg)持ち上げる人 - それ以上
5. 生物の領域 - 複雑さと美しさ
6. 否定的データ - 悪魔の存在の論証へ



# 第三節 一般啓示の現実と効力

## 3. 関連聖句の吟味

1. 鍵となる聖句 - 吟味
2. 多くの自然詩篇 - 詩篇19篇
3. ローマ人への手紙
  1. 1章:自然のうちの神の啓示
  2. 2章:人間の人格のうちの神の啓示
4. 純粹で正確な知識 - 所有を示唆
5. 不従順 - 等しく皆非難されている
6. 使徒14:15 - 17
7. 使徒17:22 - 31

## 第三節 一般啓示の現実と効力

### 4. 一般啓示、しかし自然神学なしの

1. ジャン・カルヴァンの立場
2. 一般啓示の有効性
3. 人間の理解力の盲目と暗闇
4. 自然神学の可能性 - 疑問視
5. 信仰の眼鏡
6. 神存在についての外形的証拠

## 第四節 一般啓示と人間の責任

1. 人間に対する有罪宣告:ローマ1 - 2章
2. 未信者の内的律法 - ユダヤ人の律法と同じ働き
3. 憐れみの基盤を知らず - その上への自己投与
4. 理論上の可能性にオープン - それに過ぎず

## 第五節 一般啓示の意味合い

1. 信者と未信者 - 共通の土台の存在
2. 特別啓示の外 - 神知識についての可能性
3. 福音を耳にしなかった人々
4. 宗教と諸宗教の世界大の現象を説明
5. 創造と福音 - 一貫性のある神の啓示
6. 神が構成された全宇宙の真理の開示